

学生の皆さんへ: 生成 AI の利用に関する注意事項

生成 AI (Generative Artificial Intelligence) は、ユーザが入力した命令 (プロンプト) に応じてコンピュータが文章や画像を自動的に生成する人工知能技術の一つです。2022 年 11 月に公開された米 OpenAI 社の対話型生成 AI (ChatGPT) はその代表例で、今のところ、誰でも無料で利用することができます。2023 年 2 月に公開された大規模言語モデル GPT-4 を用いた ChatGPT は、人間に近い極めて自然な回答を生成することから注目を浴びています。今後さらに性能が向上することが予想され、近い将来様々な場面で人間の作業 (文章作成やプログラミングなど) を補助する強力なツールになるものと考えられています。

大学での学習や研究においても生成 AI の活用に大きな期待が寄せられていますが、まだ未成熟で法的な課題も残されていますので、不適切に使用すると、皆さんの学習の妨げになったり、他者の権利を侵害したりすることが懸念されています。当面の間、授業や研究における生成 AI の利用については、担当教員の指示を仰いでください。特に注意していただきたいことは、次の 4 点です。

1. 生成 AI の回答はいつも正しいわけではありません。間違ったことを自信満々に回答することもあります (幻覚, Hallucination と呼ばれています)。また、情報にバイアスがかかっていることも指摘されています。さらに、生成 AI が学習した文章や画像に著作権があって AI の回答にそれらが含まれる場合、知らず知らずのうちに著作権を侵害してしまう可能性があります。生成 AI の回答が正しいかどうか、その利用が適切かどうかを判断するのはユーザで、生成 AI を使用する際の責任はユーザ自身にあるものであることを忘れないでください。
2. 学習過程で「考える」ことをすべて生成 AI に委ねてしまうと、皆さんの学力はほとんど向上しません。これは、マラソンランナーが早く練習を終えるためにランニングを避け、自動車に乗ってコースを周る状況に似ているかもしれません。生成 AI を補助的に利用しながら、学力の向上を目指してもらいたいと考えています。
3. レポートや課題の答案に AI の回答をそのまま使うべきではありません。授業内容の理解度を確かめるためのレポートや課題の回答を AI に答えてもらっているのは、その目的が達成されないばかりか、適正な成績評価が妨げられることになり、不正行為とみなされる場合があります。
4. 生成 AI のプロンプトに秘匿すべき情報 (自分または他人のプライバシー情報、未発表の研究データや論文など) を入力しないようにしましょう。生成 AI は入力された情報を学習していますので、意図せず情報が漏洩する恐れがあります。

なお、今後も継続的に、教育への活用を含めた対応の見直しや検討を行う予定です。

2023 年 5 月 17 日

富山県立大学 学長

ChatGPT（無料版）からの出力結果の例

例 1 出力結果が概ね妥当であると考えられるケース



Society 5.0とSDGsの共通点を示してください



Society 5.0とSDGs（持続可能な開発目標）にはいくつかの共通点があります。



1. 持続可能な社会の実現: Society 5.0とSDGsの両方が、持続可能な社会の実現を目指しています。SDGsは、経済的な発展、社会的な包摂、環境の保護の3つの柱に基づいて、貧困削減や教育の普及、クリーンエネルギーの利用など17の具体的な目標を掲げています。Society 5.0も、人間中心の社会を実現することで、経済成長と環境保全、人間の幸福の向上を両立させることを目指しています。
2. 技術の活用: Society 5.0とSDGsは、技術の活用を重視しています。SDGsでは、技術革新やイノベーションの推進が重要な手段として位置付けられており、持続可能な開発における課題の解決に役立つとされています。Society 5.0も、AI、IoT、ビッグデータ、ロボティクスなどの先端技術を活用して、社会の課題解決や人々の生活の向上を図ることを目指しています。
3. 人間中心のアプローチ: Society 5.0とSDGsは、人間中心のアプローチを追求しています。SDGsは、誰一人取り残さないという包摂原則を掲げ、人々の福祉と権利を重視しています。Society 5.0も、人々の生活や社会課題に対して、個別のニーズに合わせたソリューションを提供することで、人間の幸福と福祉の向上を追求しています。
4. 多角的なパートナーシップ: SDGsの実現には、政府、民間セクター、市民社会など、さまざまな利害関係者の協力とパートナーシップが不可欠です。Society 5.0も、産業界、学术界、政府、市民社会などの多様なステークホルダーが連携し、共同で課題に取り組むことが重要です。

これらの共通点からもわかるように、Society 5.0とSDGsは、持続可能な社会の実現を目指すために、技術の活用や人間中心のアプローチ、パートナーシップの重要性などの観点で密接に関連しています。両者の理念と目標を組み合わせることで、より強力な持続可能な社会の実現が可能となるでしょう。

Free Research Preview. ChatGPT may produce inaccurate information about people, places, or facts. [ChatGPT May 24 Version](#)

(例 1 は、2023 年 6 月 1 日に出力した結果を掲載)

例2 出力結果は自然な文章だが、内容が誤っていると考えられるケース



富山県立大学について教えて



富山県立大学（とやまけんりつだいがく、Toyama Prefectural University）は、日本の富山県に位置する公立大学です。1997年に設立され、現在は工学部、環境科学部、看護学部の3つの学部で教育研究活動を行っています。

富山県立大学の特徴は以下の通りです:

1. 学部と学科: 富山県立大学には、工学部に機械・電気・情報工学科、環境科学部に環境社会学科・環境保健学科・環境デザイン学科、看護学部に看護学科が設置されています。各学科では、専門的な知識と技術を学ぶことができます。
2. 研究活動: 富山県立大学では、産学連携や地域との連携を重視した研究活動を行っています。特に、工学部ではエネルギーや環境、情報通信技術などの分野での研究が盛んです。
3. 地域貢献: 富山県立大学は、地域の産業や社会の発展に貢献することを重要な使命としています。産学連携や地域のニーズに応じた教育プログラムの提供などを通じて、地域社会との密接な関係を築いています。
4. 国際交流: 富山県立大学では、国際交流を積極的に推進しています。留学プログラムや国際的な学会・研究プロジェクトへの参加などを通じて、異文化や異なる視点を持つ人々との交流を図っています。
5. キャンパスと施設: 富山県立大学のキャンパスは、富山県富山市に位置しています。キャンパス内には図書館、研究室、教室、学生寮などの施設が整っており、学生の学習や生活をサポートしています。

富山県立大学は、地域との関わりを重視しながら、幅広い学問領域で教育と研究を行っている公立大学です。

内容が誤っている

学生寮は整備していない

射水キャンパスが漏れている

Free Research Preview. ChatGPT may produce inaccurate information about people, places, or facts. ChatGPT May 24 Version

(例2は、2023年7月3日に出力した結果を掲載)

例 3 出力結果が明らかに間違っているケース



12345*6675



計算結果は「82,667,875」となります。



Free Research Preview. ChatGPT may produce inaccurate information about people, places, or facts. [ChatGPT May 24 Version](#)

正しい答えは 82, 402, 875 です。

※ChatGPT は計算が苦手な様子です。(簡単な計算なら大丈夫か)

(例 3 は、2023 年 6 月 1 日に出力した結果を掲載)